

業界初!!

トラック専用  
故障診断機

# トラック専用 マルチコード リーダープラス

## TPM1000BZ-TR

### DPF強制燃焼対応!



進化系コードリーダー 作業サポート機能

- DPF強制燃焼機能
- インジェクターID呼出・登録
- パワーバランステスト

※ メーカー・車種により対応していない車両があります。

**対応メーカー** 国産トラック4メーカー いすゞ・日野・三菱ふそう・UDトラックス(16ピン台形コネクタ採用車)  
※ メーカー・車種により対応していない車両があります。 ※ 各メーカーの対応機能、車種別の対応にしましては別途資料にてご確認ください。

⚠ 安全に関するご注意。ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。(型式・仕様は予告なく変更することがあります。)

**BANZAI** 株式会社 バンザイ

<http://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: teigy@banzai.co.jp

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
東大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp

海外販売部  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6894

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山  
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮  
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸・高松

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・長崎・大分・熊本

●販売会社 バンザイ南九州販売(株)  
バンザイ沖縄販売(株)

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: Hiroshima\_br@banzai.co.jp

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市中区大須1-29-36  
TEL 052-201-7551  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp



ISO9001・ISO14001  
自動車整備関係検査用機器の設計開発販売及びサービス  
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に  
お客様との息ずなを大切に、  
お客様満足度の向上を図ってまいります。

# BANZAI NEWS

2011  
Autumn  
280

## 特集

BANZAI NEWS

感動品質 3rd Stage  
感動ソリューション  
最新技術で実現する エコロジー&エコノミー

### 個々のお客様の情報を診断・提案に生かす、 「攻守連携」のサービス体制を!



朝霧の由布岳と湯布院——大分県由布市

高原の空気はきりりと冷え渡り、はるかに見下ろす湯布院の街は、盆地を湖のように覆いつくした朝霧の底にひっそりと沈んでいます。銀色に輝くすすきの穂はかすかな晩秋の風にそよいで、間近な冬の訪れを告げているようです。

★歳時記

- 10月 10日 体育の日
- 11月 3日 文化の日
- 8日 立冬
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 22日 冬至
- 23日 天皇誕生日
- 25日 クリスマス



●目次

- ★特集【感動ソリューション 最新技術で実現する エコロジー&エコノミー】… ①  
個々のお客様の情報を診断・提案に生かす、  
「攻守連携」のサービス体制を！
- ★モデルショップ訪問①  
【株式会社ホワイトハウス ユーロオートモーティブ Audi名古屋西】… ⑥  
25のブランド、30店舗を擁するグループに、  
新ブランドの店舗が誕生
- ★モデルショップ訪問②【麻生工科自動車大学校】… ⑧  
自動車整備から設計・開発まで  
幅広いエンジニアの総合教育を目指す
- ★ショールーム… ⑩
- ★EPOCH「安全の手引き」… ⑭
- ★ロータリー… ⑯
- ★BANZAIガイド… ⑰

## 特集

BANZAI NEWS



## 感動ソリューション

最新技術で実現する エコロジー&エコノミー

PART 4



### 個々のお客様の情報を診断・提案に生かす、 「攻守連携」のサービス体制を！

地震とそれに続いた原発事故、そして台風と大きな災害に見舞われた2011年、わが国全体がひたすら守りに回ることを余儀なくされている観もあります。そんな中で女子サッカー日本代表なでしこジャパンの活躍は、しほみかけた国民の心に火をともしてくれたような明るい出来事でした。リスクへの備えを固めるとともに、チャンスをきっかけに攻めに転じる、そんな前向きな気持ちを思い出させてくれたような気がします。

**なでしこサッカーに見る企業活動の原点**

冒頭に述べたように、国を挙げての復旧、復興の途上にある日本にとって、ワールドカップ優勝、そしてロンドンオリンピックへの出場権獲得と、「なでしこ」たちの活躍は国民に大いに勇気を与えてくれる出来事でした。テレビの前にくぎ付けになって観戦された皆様も多いことでしょう。サッカーの試合でも、いったん守勢に回ると次々に敵の攻撃にさらされるようになるのは、テレビ観戦をしていてもよくあることですね。後手に回るとはよく言ったもので、そうなると味方は防戦一方、苦しい試合展開を余儀なくされてしまいます。かと思えば、ひたすら攻勢をかけていてもなかなか得点できず、ちょっとしたミスからカウンターで敵に一点を取られてしまうなどということもよくあります。守りを固めて攻めのチャンスを作る、バランスの取れた布陣が大切なのは、サッカーにも企業活動にも共通のテーマかもしれません。簡単な様でそれが難しい、というのも似ていますね。

**診断に基づく提案が付加価値アップの決め手**

さて自動車サービスに「守りと攻め」を当てはめて見ましょう。守りとはお客様をお守りす

る、顧客管理、フォロー体制のことですね。しっかりと水も漏らさないフォロー体制でお客様のサポートにあたる、これが大切なのは業態を問いません。いくら新規拡大キャンペーンを展開しても、フォローが追いつかなければ、それは消耗戦になってしまいます。新規入庫ばかり多くても、顧客層の厚みにつながらなければ意味がないからです。次回もまた入庫してもらえるように、一人ひとりのお客様に満足を提供することがその必須の要件です。

それでは攻めの要件とは何でしょうか？成熟・飽和市場といわれる現在の自動車マーケットにおいては新規顧客の拡大も多くを期待することはできません。一台一台への、お客様一人ひとりに対する密着度を高め、サービスの付加価値アップを図ることが攻めのサービスといってもいいのではないのでしょうか。そしてそのための戦略が、診断をもとにした提案サービスなのです。

**お客様対応の流れを定型的業務として確立**

本シリーズでもたびたび指摘していることですが、モータリゼーションの成熟やそれにとともなう保有の長期化などによって、サービスの役割はますます重要なものになっています。カーライフ全体をトータルに管理させていただき、安心を提供することが自動車サービスのコンセプトなのです。とすれば、お客様の情報管理を適切に行ない、きめ細かい提案を連動させることによって、攻守の連携、バランスのとれたサポート体制を確立することがこれからのサービスのポイントといっても過言ではありません。

お客様一人ひとりのお車の使い方に合わせてお車のメンテナンスサポート、いわゆるサイクル管理ですね。お客様の平均走行距離にも

とづいたメンテナンス計画の提案、さらに入庫ご案内の電話コール、そしてサービス実施後のアフターコール、そういったビフォア&アフターのフォローと、受け入れ点検と診断、提案サービスという流れを入庫時の定型的な業務として確立していくことが診断・提案サービスの要になります。

**高度化する車両技術に、高度な診断技術で対応**

車が高度化すればトラブルも高度化する…。変な表現かもしれませんが車の故障も以前と違って原因の探求が難しくなりました。したがって診断、修理技術にもより高度な対応が求められています。

昔のエンジンでは「良い燃料、良い圧縮、良い火花」の三つがあれば動くといわれたものでした。トラブルのときはそのどれかを見極めれば良いという、シンプルな診断で事足りたわけです。ところが今の車ではそうは行きません、車全体がシステム化され、いくつものコンピュータによってコントロールされているからです。

ワイパー一つ動かすのでさえ、ステアリングコラムのスイッチを入れるとコンピュータが指令を出し、CANを経由してその指令がモーターに伝達されるという、つまり車全体がひとつのネットワークと化しているのです。このように高度に電子制御が採り入れられた車の診断・提案には、メカニックの知識と技術、高度なトラブルシューティング技術とともに診断テスターが不可欠なことはいうまでもありません。そしてさらに大切なのはお客様の情報を踏まえた提案の仕方です。これが先ほどから述べている「攻守の連携」ですね。

つまり提案で大切なのはお客様の視点、ニー

ズをふまえて行うことです。どなたにも同じ提案、話法を用いていませんか。いかにも立て板に水、セールスマニュアルを覚えたままを言っているな、という感じを与えてしまうような提案では、お客様にとって親身な提案と受け止めていただけないでしょう。

提案はお客様の整備履歴などの情報にもとづいて親身な立場からのプレゼンテーションであることが大切ですね。その意味でも「守りと攻め」、すなわち顧客情報と提案はつねに表裏一体であるべき、といえるでしょう。つまり、車のメンテナンスはお客様の車の使い方、走行距離、などカーライフ全般のスタイルを前提として決められることが必要だということです。そして何らかの故障が起こった場合も、お客様の日常の使い方や、過去の整備履歴を背景としてトラブルシューティングを行わなければ、的確でスピーディな診断はできないでしょう。

**根拠に基づいた診断が的確な提案につながる**

さまざまなメディアで健康や医療がテーマにとり上げられている昨今ですが、テレビでも実際の医師が実例をもとに患者の病気を推理し、診断を行うという番組が話題になってい



ます。これは実際の事例をもとに、総合診療医がプレゼンテーションを行い、数人の研修医がその病名を推理していくというバラエティ形式の番組なのですが、患者の訴えを聞き、検査結果と問診をもとにして、その病気の原因を診断していくその過程は、まさにトラブルシューティングの手法そのままです。データから推理されるいくつかの病名から、最終的に本当の原因を絞り込んでいくというやり方ですね。これを的確に、しかも迅速に行えるドクターが理想の総合診療医というわけです。これはまさに、本シリーズでも以前ご紹介したEvidence based medicine(根拠に基づいた医療)の概念そのものですね。

そうでなければどうでしょう、とりあえずAの薬を飲ませてみて、それで効かなければBの薬を試してみよう…、など行き当たりばったりの治療では患者はたまりません。車でもまったく同じですね。原因箇所はよく分からないけれど、とりあえずAのセンサーを交換してみて、それでダメならBを試して…、などといったように、これでは時間も費用も余分にかかってしまいますね。



### 「かかりつけドクター」、医療の原点回帰

この医療の世界で言われるようになった総合診療医とは、いわば私たちの「かかりつけ」のお医者様と同様の位置付けを持つものです。最近の医療では従来の内科、外科、整形外科などを中心とした診療科目のほか、消化器系、循環器系、呼吸器系などのように専門科、細分化が進み、それによって高度な先進医療を実現している一方で、病名が分かるまでにさまざまな科を受診しなければならなかったり、専門の診療科の受診がなかなかできなかったりという問題点もありました。そこで、専門医に対して総合的な初期医療を担当する科目として、欧米のGeneral practitioner(一般医、開業医)的な位置付けの「総合診療科」が大病院などを中心に設けられるようになってきたということです。専門科目での治療を行う前の初期医療や、専門科への振り分けを行うことが主な目的ですが、さまざまな検査結果とともに、その人の生活習慣や過去の健康状態など、総合的な情報をもとに診断を行うという、いわば高度に分業化した医療に対して、医療の原点ともいえるような位置付けといえるでしょう。

### 車の診断も、さらに高度なトータル診断へ

車の場合でも、例え月間走行距離は同じだったとしても、そのユーザーが休日のロングドライブが主なのか、毎日の通勤で使っているのか、買物や送迎だけのちょい乗りが主なのかによって消耗、磨耗の仕方は変わってくるのではないのでしょうか。運転の仕方でも、エコドライブを心がけている人、スポーティドライブが好きな人、それぞれ同じ距離を走ってもやはりメンテナンスのポイントは違ってきますね。もちろん日常のメンテナンスの程度によっても…。

そういうお客様個々の情報を診断・提案に生かしてこそ、お客様に納得いただけるサービスの提案ができるのではないのでしょうか。また先ほどの車両技術の高度化は診断にもさらに高度な技術を要求しています。コンピュータ制御の流れはABSシステムやTCS(トラフィックコントロールシステム)、さらに先進的なESC(エレクトリックスタビリティコントロール)システムなど、ドライバーをサポートして安全性を確保するための各種のシステムが導入されています。その結果、車体のトラブルが電子制御系とも密接に関連してくるため、総合的な診断のありかたが不可欠になってきます。先ほどの総合診療医の例でいえば内科、外科、整形外科を併せ持った診断技術ということになるのでしょうか。例えばホイールアライメントの診断にしても電子制御系の知識と技術を駆使した、より高度な診断が求められるようになってきているのです。

### 個々のサービス情報を、さらに次のステップの診断・提案へ

「無形の商品」ともいわれるサービスの特性の一つに「同時性」があります。サービスは生産



と消費が同時、つまり提供者と受け手が同じ場において同時に行われるというものです。自動車サービスでいえば、お車をお預かりして行う整備作業は別として、サービスを受注するまでの診断、提案はまさしくこの同時性が当てはまります。したがってご来店、受け入れ診断、ご提案、概算お見積り、という一連の流れを的確に、スピーディに行うことがお客様の満足度に密接に関わってきます。診断機器にしても、提案サービスを前提とした機種が求められることはもちろんです。車両への接続から診断までがスピーディに行え、かつ診断結果を分かりやすく表示できる機能を持っていることなどです。

また、このような個々のお客様のデータをお客様のサポートに活かせる環境づくりがサービス工場にも欠かせません。バンザイの「エコキャン」もこうした過去の診断データの蓄積を、さらに新たな診断に生かしてサービス提案につなげる、いわば守りと攻めの連携、言い換えればサポートとアクションのコラボレーションを実現するシステムといえるでしょう。

バンザイが本年ご提案してきた「感動ソリューション2011 最新技術で実現するエコロジー&エコノミー」では、品質、価格、時間という3つの要素に対して、個々のお客様の要求レベルに合わせた「最適」のご提供が感動ソリューションにつながるというご提案をしてみました。そのためにはお客様個々の情報を診断、提案に反映させることが不可欠ですね。守りと攻め、バランスの良いサービス体制の確立で、お客様へのより大きな満足・感動の実現へ、チャレンジしてみませんか？

# 25のブランド、30店舗を擁するグループに、新ブランドの店舗が誕生

国内外25のブランドの販売、サービスを主体として、愛知県内に正規ディーラー30店舗を展開する、株式会社ホワイトハウスでは、このたび新たにアウディのディーラー権を取得、名古屋市中川区に新店舗「アウディ名古屋西」をオープンしました。



シルバーリングを掲げるアウディのCIを導入した店舗

## サービスへのこだわりとノウハウを生かした設計に

名古屋市の南西に当たる中川区を南北に貫く幹線道路、太平通りに面した「アウディ名古屋西」の新店舗はグレーを主体としたコーポレートカラーに装われた先進的なデザイン。三方向ガラス張りのショールームが道路に面して存在感をアピールしています。敷地面積は約1,800㎡、そのうちサービス工場には約450㎡がとられています。

サービス工場は整備ストール4ストールと検査ライン、それにレセプションストールが併設されています。主な設備はZイーグルリフト3基、アライメント仕様のワークステージXが1基、検査ラインとレセプションストールにワークステージリフトが各1基、また検査ラインにはトリプルテスターおよび固定式フリーローラー、アライメントストールにはマイクロラインVAG1995Kを導入されています。

「社長も私もサービスの経験がありますので、サービス工場のレイアウト、設備とともに作業性の良さにこだわりました」と木村貞志専務。とくに「什器やピットの使いやすさという面で、経験からのノウハウを生かした設計」を採用されているとのこと。ストール前面の広さや什器のレイアウトにもきめ細かい配慮がなされています。



太平通りの角地に面したガラス張りのショールーム



清潔感あふれるサービス工場



フリーローラーを設備した検査ライン



専務取締役 木村 貞志氏



サービスマネージャー 金 永斗氏

## グループ丸のアイデンティティ、団結力で飛躍

厳しい経済環境の中で、同社のこうした積極的な展開は、「こういう時代だからこそ皆で明るく団結してお車の提案を強化していこう」という木村文夫社長のメッセージによるもの。「社員一丸の団結力により、ここ3年間の伸びは過去最高を叩き出しています」(木村専務)とのことです。

多数のブランド店舗に全従業員330人を擁するホワイトハウスグループだけに、「グループとしての志向の統一を図ることが大切」(木村専務)、そのためグループ独自のインストラクター制度の導入により、入社時からフォローまで段階を追った研修体制を導入、また年2回の全社会議など、グループとして独自のアイデンティティづくりにも力を入れています。



アライメント仕様のワークステージXとマイクロラインVAG1995K



ツールキャビネットがきれいに収まるアウディ指定国産キャビネット



VW、アウディグループ専用機種種のマイクロラインVAG1995K



サービスストールにはZイーグルリフトが3基



ストールの床面はアウディ指定のタイル貼り



ショールーム入口のサービスフロント



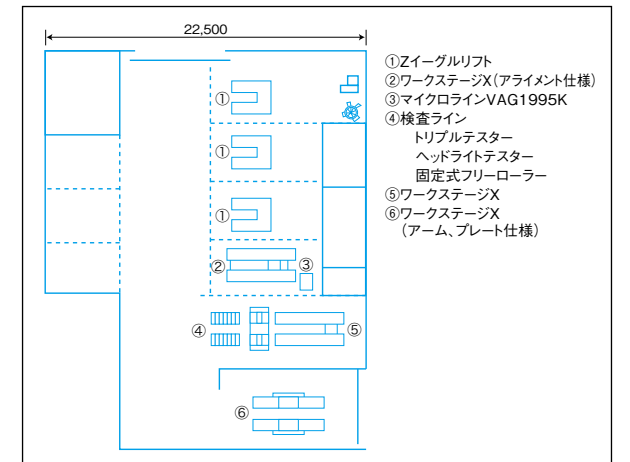
アウディのニューモデルが並ぶショールーム



アウディのオリジナルグッズを揃えた用品コーナー

## すべてのサービスにアウディ独自のコンセプト

「販売はサービスありき、まず何が大切かといえばそれはサービスです」とサービスの重要性を強調される木村専務。「時間がかかればお客様に迷惑をかけます。早く不具合を見つけて、正確に対処し、安心に乗っていただくことが一番だと思います」と、実践面を担当される金永斗サービスマネージャー。正確なサービスを迅速に、というのはあらゆるブランドに共通のテーマです。アウディ独自のサービスは？との質問に、「すべてがアウディ独自のサービスです」(金サービスマネージャー)と自信を持って答えられる、その言葉にアウディのブランドポリシーが表されているようです。着実な成長を続けるホワイトハウスグループの一角を担う、新ブランドの躍進に一層の期待がかけられています。



# 自動車整備から設計・開発まで 幅広いエンジニアの総合教育を目指す

福岡市を中心に12校の専門学校を擁する麻生専門学校グループの麻生工科自動車大学校は、1級、2級の自動車整備コースに加え、自動車設計、ロボット開発、デジタルデザインなど幅広い分野をカバーする総合的な専門教育を特徴として、テクノロジーの進化に対応する技術者の養成を目指しています。



福岡市の中心、JR博多駅からも至近の立地



レーシングカーが飾られたエントランス



教務部 整備系 学科長  
小串 浩之氏



スーパーマルチテスターを  
導入した検査ライン (B1)



3D方式アライメントテスター  
「ジオライナー」も導入 (B1)



Zイーグルリフトは  
多層階にも設置が容易 (B1)



Zイーグルリフトをはじめ  
各種リフトを設備 (1F)

## 整備からメカトロニクスまでを網羅

福岡市の中心、JR博多駅から数分の市街地に建つ7階建てのビルが同校のキャンパスです。この校舎で1級自動車整備科、2級自動車整備科、自動車システム工学科、機械設計エンジニアリング科の4科を併設し、それらの学科のカリキュラムに対応する、講義、実習のための高度な学習環境を実現されています。

同校の最大の特徴は1級、2級の整備士のみならず、自動車の設計デザインやメカトロニクスまで、幅広い専門分野の学習とともに、各種の資格取得、さらにレーシングカーの設計・開発やロボット研究といったプロジェクトなど、実践的な教育・研究活動が複合的に学べる設備、教師陣を擁していることです。

## 高度な診断機器までを網羅した実習設備

同校は地下1階、地上7階の8フロア。そのうち3階～5階は学科教室およびコンピュータ教室、地下1階および1階、2階が整備実習教室となっています。地下1階はスーパーマルチテスターを備えた検査ライン、ジオライナー、マイクロラインを備えたアライメントストールなど、1階は外部診断装置、振動分析計など各種の診断機器を備えた整備・診断ストール、そして3階はエンジンテストベンチ、ミッションなど豊富な実習機材を揃えた実習場となっています。

リフト関係ではZイーグルリフト、ワークステージXなど、3フロアで合計約20基。そのほか排気ガス排出リールなど、環境面でも万全の設備が導入されています。また6階には同校の特色でもある設計・デザインのための設備として3D-CADをはじめとするコンピュータ設備も充実、車両開発エンジニア、メカトロニクスエンジニアを目指す学生のニーズにもきめ細かく対応しています。



外部診断機、振動分析計など、  
充実した診断機器群 (1F)



すべてのフロア、ストールに  
排気ガス排出リールを備える (1F)



旋盤、ボール版などの工作機械も完備 (2F)



四輪、二輪ともに多彩な実習車両 (2F)



立体CADソフト「CATIA」が  
ずらりと並ぶ  
自動車システム工学科の教室



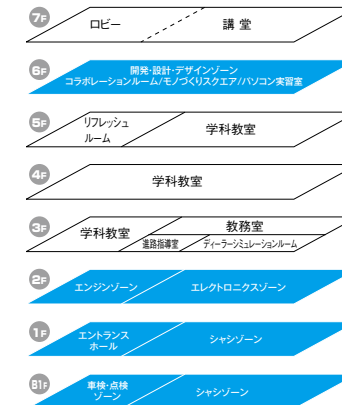
8足歩行ロボットの研究など、  
マスメディアでも同校の技術が  
注目されている

## エンジニア育成のための最高の環境を実現

「将来扱う可能性のあるものはすべて実際に触れられること、とくに1級コースでは高度故障診断まで含めた診断に関わる機材までをすべて網羅していることが不可欠です」と、同校の設備について話される学科長の小串浩之氏。

自動車整備科では単に技術の修得、資格の取得だけでなく、実践の場での即戦力となる社会人としての人材育成が求められています。2年間で2,000時間を超えるカリキュラムのほかに、企業訪問や大手企業へのインターンシップなど、エンジニアとしての人格形成にもつながる教育環境が同校の強みといえるでしょう。2008年に設立された同校では、2級整備士コースとしてはすでに2期の卒業生を送り出しており、さらに来春は同校初の1級整備士が誕生することとなります。「やはり4年間の意識付けが大切、目的意識を持って難関の1級にチャレンジして欲しいですね」と、自らも第1回の1級整備士試験の合格者である小串浩之学科長は期待を込めて話されています。

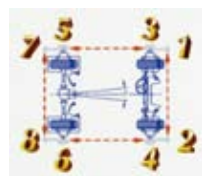
### フロアマップ



# SHOW ROOM

## ML8RTECH マイクロライン ホイールアライナー

ヨーロッパの足回り技術が息づく「マイクロライン」



- 8センサーシステムで精度の高い安定した測定が可能！  
8つの赤外線センサーを使用し、車両の前方、側面だけでなく後方にも赤外線を通します。これにより、足回り測定だけでなく、アクスルオフセットやホイールベース左右差など、ボディを含めた「車両のトータル診断」が容易になります。
- 無線式を採用しているため、キャビネットからのセンサーケーブルは必要ありません。また、充電に関してはキャビネットにセンサーヘッドを戻すことで簡単に行えます。

<測定項目>

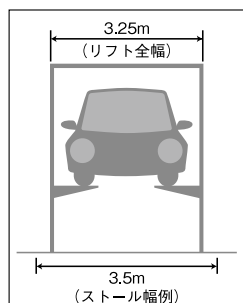
ト（トータル、個別）、キャンバー、セットバック、スラストアングル、キャスト、キングピン、TOOT、サイドオフセット、トレッド幅差、最大切れ角（エレクトロニックターンテーブル使用時、オプション品）、ホイールベース差、アクスルオフセット

型 式	使用電源	使用温度条件	ディスプレイ	対象ホイールサイズ	使用周波数
ML8RTECH	AC100V	5~38℃	19インチ	13~24インチ (バイスバース製マルチクイックランプ)	2.4GHz

## GLY-40S ゲートリフト スリムII（幅短仕様）



狭いストールにもOK!  
設置場所を選ばない幅短タイプ



- ハイブリッド車、重量級RVもらくらくリフトアップできます。
- 前後アームに3段同長アームを採用、セッティングが容易です。

型 式	GLY-40S
能 力	4,000kg
揚 程	1,750mm
モーター	AC200V 三相 1.5kW
駆動方式	電動油圧・ワイヤー同調

# SHOW ROOM

## RO-11G エminent ガンマ（3本ブラシを標準仕様としたエコ洗車機）

お客様との絆作り、安心・安全・ECO洗車をご提供！



※写真はオプション仕様

- 標準仕様（水洗い）を基に液剤の種類など、ユーザーが求める仕様にカスタマイズ可能な門型洗車機。ロッカーブラシを追加すると5本ブラシ（左写真）としても使用可能です。
- レール長が7.8mと短くなり、従来と比べて省スペースです。（洗車可能車両長さ5m）
- マシエルブラシ（スポンジブラシ）のボリュームを増やした新ブラシでさらに洗浄力をUPさせました。
- 自動車両判別機能が標準装備。
- 安全性を考慮し、ワイヤー式の安全装置を前後4コーナーに標準装備しました。
- 操作は見やすく、簡単操作のタッチパネル仕様。
- オプションで下部洗浄機（ポートワッシャーU）と連動可能です。

型 式	洗車可能寸法	洗車時最大電気容量	乾燥時最大電気容量	電 源	使用水量
RO-11G	高さ2,300×幅2,300（ワゴン車2,200） ×長さ5,000mm	（標準）2.55kW	（標準）7.9kW	AC200V 三相 75A	標準41L/台

## イグニッションアナライザー

コイルの上部にかざすだけで、  
ダイレクトイグニッションコイルの良否が分かります！



ダイレクトイグニッションコイルの  
上部にかざすだけ！

オールインワン表示！  
二次電圧(KV)  
エンジン回転数(rpm)  
スパークタイム(mS)  
各項目の最大値/最小値も表示

こんな症状の診断に

エンジンがからない……点火系は？  
失火…気筒判別、  
イグニッションコイル不良  
スパークプラグの良否、  
スパークプラグワイヤの良否

●デスティタイプの車両もOK。

型 式	サイズ(H×W×D)	プローブ長さ	重 量
TA500J	155×102×38mm(プローブ含まず)	300mm	355g(バッテリー含)

# SHOW ROOM

## エコスキャンシステム オンラインソフト (オプション)

エコスキャンシステムに新たに2機種のスキャンツールが接続可能になりました!

トータル診断管理システム「エコスキャンシステム」に接続できるスキャンツールとして、新たに「DST-2」および「G-Scan」をオプション設定したオンラインソフトです。

構成品  
●CD-ROM 1枚 ●インストールガイド



## エアコンプレッサー (オイルタイプ・レシプロ圧縮・タンクマウント)



- 騒音値が低くなりました。
- 低振動で従来比で2~5%削減になっています。
- 従来機と比較して約5%効率向上しています。
- 低オイル消費 (従来機比約5%消費量低減)

型 式	200V 三相出力 kW(PS)	制御圧力 MPa	吐出空気量 L/min	タンク容量 L	騒音値 dB
TLP55E-10	5.5(7.5)	0.8~1.0	630	155	71
TLP75E-10	7.5(10)		855	180	73
TLP110E-10	11(15)		1,285	200	76

## パワーエキストラクターセット



エアハンマーを使用して振動を与え、インパクトドライバーでも回せない場合に威力を発揮します。

型 式	セット内容
PEX2011	エアハンマー、3/8ソケットアダプター、3/8ソケットビット (No.2プラスビット、No.3プラスビット、5mmヘックスビット、T-30トルクスビット)

# SHOW ROOM

## 絶縁2重被膜グローブ



絶縁グローブは低電圧作業の際には法令で必ず必要な絶縁用保護具です

- HVやEVのメンテナンスを考慮し、従来の絶縁グローブとは全く違う抜群のフィット感があります。
- バッテリーに多用されているM5(8mm)、M6(10mm)といった小径ネジの作業に対応、作業性の良さを実現。
- 2層構造(滑り止め部は3層構造)になっており、グローブ表面の摩耗や損傷を目視で確認できます。(1層目:青色、2層目:赤色)

型 式	サイズ	全長mm	中指寸法mm	手のひらまわりmm
SKGLOVELRS	S	25.0	6.9	21.0
SKGLOVELRM	M	26.5	7.4	21.8
SKGLOVELRL	L	27.0	7.7	22.6

## 自動車用マルチメーター (複合テスター)



タコドエルテスターとサーキットテスターの機能をあわせ持つ複合テスターです。

- ハンドヘルドタイプのコンパクトなサイズ
- 全ての機能と範囲における過負荷防止
- 大きくて見やすいLCD表示 自動逆極性表示
- バッテリーパワー: 9V

型 式	DC電圧	AC電圧	直流電流	抵抗(Ω)	RPM	DIS	ドエル角	温度	周波数	パルス幅	期間
DACS-001-4A	200mV 2V 20V	500V	15A	200, 2k 20k, 200k 2M	300~ 12,000rpm	300~ 12,000rp	8, 6, 5, 4, 3, 2, 1	-40~2,000°F -20~1,372°C	2,000Hz	200mS	200mS

## ジーゼルエンジン回転計

従来のDACS-010-5Aでは測定できなかった  
コモンレール式ジーゼルエンジンの測定が可能になりました。



型 式	DACS-010-5B
対象エンジン	ポッシュタイプ、噴射ポンプ取付ジーゼルエンジン (2~4サイクル)、コモンレール式ジーゼルエンジン (ポスト新長期規制車除く)
測定レンジ	LO 300~1,500rpm、Hi 1,500~6,000rpm
電 源	単1乾電池2本 又は 車載バッテリー
寸法・重量	310×200×130mm 約3.5kg



## 整備機器を安全に

整備機器も日常的に使用していると、慣れや不用意な危険行為によって、思わぬ事故につながりかねません。整備機器をご使用いただく上で事故につながりやすい取扱上の主な注意点を紹介した「安全の手引き」から、一部をご紹介します。



### リフトの安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

車が床から浮いたら、車の安定性を確認してから上昇させること



安定性を確認しないで上昇させると、車が落下し、下敷きになり、重大な事故につながる危険があります

洗車対応機以外は洗車不可



水による影響でリフトに過度な負担が掛かり、安全性が損なわれる恐れがあります

アームロック装置を掛けること



アームが広がり車が落下し、重大な事故につながる危険があります

バッテリー液がチェーンやワイヤーに付着したときは、リフトの使用は厳禁



チェーンやワイヤーの切断の可能性がありますので、新品に交換してください

ブルーのステッカーが「点検済」の目印です！

リフト点検済	
このリフトは点検済です。取扱説明書に従って正しい使用してください。	
リフト型式:	
製造番号:	
点検実施日:	年 月 日
点検実施者:	年 月 日
点検実施者名:	
点検実施者認定番号:	
株式会社 パンザイ 社団法人 日本自動車整備工芸協会 会員	

リフト点検資格者が点検を実施したリフトには、点検結果により「青」「黄」「赤」の3種類のステッカーが貼付されます。

要修理	
このリフトには修理を必要とする箇所があります。速やかに修理を行ってください。	
リフト型式:	
製造番号:	
点検実施日:	年 月 日
点検実施者:	年 月 日
点検実施者名:	
点検実施者認定番号:	
株式会社 パンザイ 社団法人 日本自動車整備工芸協会 会員	

使用禁止	
このリフトを使用すると重大事故につながる恐れがあります。危険ですので使用しないでください。	
リフト型式:	
製造番号:	
点検実施日:	年 月 日
点検実施者:	年 月 日
点検実施者名:	
点検実施者認定番号:	
株式会社 パンザイ 社団法人 日本自動車整備工芸協会 会員	

「要修理(黄)」、「使用禁止(赤)」のステッカーが貼付されたリフトについては、各支店、営業所にご相談ください。

## 使用いたしましょう

PART 3

### ホイールバルancerの安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

ホイールはゆるまないようしっかりと取り付けること



回転中に外れて飛び出し、重傷を負う危険があります

ホイールの回転面に立たないこと



小石やウェイトが飛び、重傷を負う危険があります。ウェイトは確実に取り付けてください

回転中のホイールに触れないこと



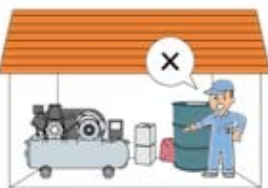
巻き込まれて重傷を負う危険があります



### エアコンプレッサーの安全使用

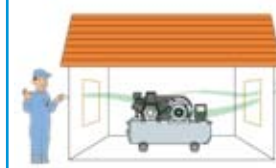
機種によっては該当しない項目もあります。

コンプレッサーは爆発性ガス、引火性ガス、可燃物の無い場所に設置すること



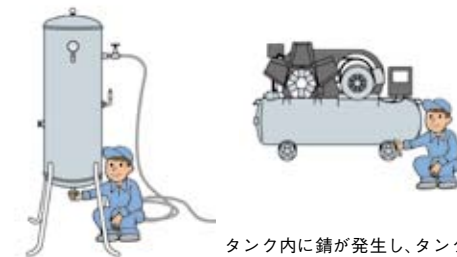
爆発・火災・破損の原因になります

コンプレッサー室の換気に注意すること



湿気が多い場所では電気系統の漏電や火災事故の危険があります

空気タンク内のドレンを定期的に抜くこと



タンク内に錆が発生し、タンクが破裂する危険があります

### 車検機器の安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

FFロックチェーンをつけることまたはガイドローラーを使用すること (スピードメーターテストの場合)



急ハンドルや急ブレーキで、車が飛び出す恐れがあります

タイヤの異物に注意 (スピードメーターテストの場合)



異物(小石など)が飛び、重傷を負う危険があります

タイヤの空気圧に注意 (スピードメーターテストの場合)



タイヤがバーストし、車が飛び出す恐れがあります

サイドブレーキを掛けること (ヘッドライトテストの場合)



車が飛び出す恐れがあります。ギヤはニュートラルかパーキングにしてください

## MSC経営戦略会議

### 「第4回後継者を担う会」開催

MSC経営戦略会議の後継者の皆様による研鑽と交流の場である「後継者を担う会」の第4回目となる研究会が9月27日、28日の2日間にわたって熊本市で開催されました。

この会の講師を担当されている野崎英直氏は今回、「問題解決能力の向上」をテーマに研修を展開、自動車保有台数が減少している時代におけるバリューチェーンの重要性、PDCAサイクルの構築など、社内における問題解決の環境づくりを強調されました。

2日目は地元、熊本市における会員会社であるカークリニック九州の新たな取り組みとして、ガソリンスタンド併設型の整備工場「セーフティ」と「ハッピーレンタカー」の見学を行い、同社の社長、丸山立紘氏より同社独自の取り組みと今後の課題についてのレクチャーを受けました。

会を重ねるごとにますます充実した活動を展開している、同会の今後の展開に一層期待されます。



後継者たちを前に同会への期待を語る議長、小川利明氏



力強く論旨を展開する講師の野崎英直氏

つねに独自の経営策を展開するカークリニック九州社長、丸山立紘氏



タッチパネルPCを活用した車検システムに熱い視線が注がれた



ガソリンスタンドと整備工場が連携した「セーフティ」を見学

## セレットクラブ

### 平成23年度第1回研修会開催

セレットクラブでは本年第1回目の研修会を7月10日に横浜市の(株)永城自動車興業で開催しました。今回は技術革新が進む車体整備業界において重要になっている高張力鋼板パネルの修正技術をテーマとして、厚生労働大臣認定の「現代の名工(日本の名工)」である、(株)損害保険ジャパン・損害調査能力開発室の杉山裕二氏を講師に招き、鋼板の特性解説から実際のテストピースを使用した作業観測と鍍金修正作業などを、解説と実技、さらに受講者による修正体験をまじえて有意義な講習が行われました。



杉山講師の卓越した技能を間近に体験

テストピースによる作業観測の修得



セレットクラブ会長の金城有介氏



受講者の熱気が伝わる講習会

# BANZAI GUIDE

## バンザイ仙台支店 ～がんばろう東北～2011機械工具展示商談会 開催

仙台支店では9月14日(水)、15日(木)、アズテックミュージアム仙台産業会館(仙台市太白区)に於いて「～がんばろう東北～」を合い言葉として、震災の復旧、復興のお役に立てるよう、各種新商品の展示販売とセミナーを中心とした「2011機械工具展示商談会」を開催しました。今回の商談会ではオートサービスショーで提案しました“最新技術で実現するエコロジー&エコノミー”のながれを引き継ぎ、注目を集めている環境対応機器や話題の診断機器類をはじめ数多くの新商品を展覧するとともに「市場が縮む時代にどう生き残るか」、「ハイブリッド車整備のポイント」の2つのメインセミナーおよび、「整備作業に於ける安全作業の啓蒙」、「ブレーキの重要性」、「車の進化+診断技術の向上」の3つの実務者向けセミナーを開催し、日々のサービスに即応できる情報の発信を行いました。

商談会会場にはご多忙の中、多くのお客様にご来場いただき、盛況の内に終了いたしました。このように非常に厳しい時代だからこそ、皆様の切実なニーズにお応えして各種の機器情報をお伝えすることが出来、実り多き展示会となりました。



会場となったアズテックミュージアム



屋外展示場では門型洗車機やスポット溶接機のデモを実施



各種のセミナーも盛況のうちに開催



展示会場内のオープンセミナー



会場内はお客様で盛況

編集後記

<丹野>



自然に彩りが溢れいよいよ冬への準備が始まりました。展示会や文化祭や秋祭りなどで人が集まるイベントが多い季節ですね。人が集まる＝アイデアが生まれるチャンスが増える！みなさんの冬へ向けての準備にプラスアルファの提案

が出来ますよう、バンザイニュースが少しでも力になれるようご一読頂けたら幸いです。また他の会社、学校で「読んでみたい」との声がありましたらお近くの営業所、本社に何なりとお申し付けください！